

# 週替わりで一息！

第2029例会（第40版）

今回の二十四節気・七十二候（にじゅうしせつきしちじゅうにこう）

**穀雨（こくう）** 地上にあるたくさんの穀物に、たっぷりと水分と栄養がため込まれ、元気に育つよう、天からの贈り物である恵みの雨が、しっとりと降り注いでいる頃のこと。長引けば菜種梅雨と名がつく。春の終わりを告げる節気の一つ。

**初候「四月二十～四月二十四日」 葭始生（あしはじめてしょうず） 16**

**「葭が芽を吹き始める」** 水辺の葭が芽吹き始め、山の植物、野の植物が緑一色に輝き始める頃。葭は、最終的にすだれや屋根などに形を変え、人々の生活を手助けしてくれます。葭という植物は葦、芦、などと書かれ、音が「悪し」につうじるので「よし」とも呼ばれます。 七十二候で楽しむ日本の暮らし・和暦コラムより

**次候「四月二十五～四月二十九日」 霜止出苗（しもやみてなえいずる）**

**17**

**「霜が終わり稲の苗が生長する」** 暖かくなり、霜も降らなくなくなり、苗がすくすくと育つ頃。田植えの準備が始まり、農作業が急激に忙しくなっていく時期を迎えます。そろそろ山の筍がどれくらい育ったか気になる頃です。種もみをまく日、田んぼの水口（みなくち水を引き入れたり、放したりする口）に、御幣や季節の花、木の小枝を挿し、種もみの残りで作った米を、焼き米にして供える風習があります（焼き米は鳥に食べてもらいます）

**10年前の主なニュース（2006年4月16日～12月28日）**

・坂井市の初代市長選で坂本氏当選



**「本日4月15日の金曜日」 「クラブフォーラム ～公共イメージを向上させるためのは！」**



今回は一人で  
集計がんばってます

■ 広報委員長「公共イメージを向上させるためのはどうすれば良いのか！」



4月16（土）ロータリーカップサッカー大会  
（丸岡スポーツランド）9：00～